

杉並農人

Suginami

Nōjin

第3号



杉並は農家が素敵だ。

杉並には、地域の人たちとの「ふれあい」を大切にする農業者がいます。

学校給食に新鮮な地元野菜を届けて子供たちの「食育」に一役買い、

収穫体験などを行って都市農業の「今」を伝えています。

農産物直売所や即売会では、自慢の品を威勢良く販売する声を響かせています。

現在、東京23区で農地があるのは杉並を含めて11区のみ。

都会でがんばる杉並の農業者を“杉並農人”と呼び、紹介してまいります。

杉並区の農業

・農家戸数：146戸 ※平成28年4月現在

・農地面積：44.74 畝 (447,400 m²)

※平成28年4月現在
※農地のある区部11区で5番目の農地面積
※野菜・果樹の他、植木・切り花等の栽培も多い

・野菜の生産量ベスト3(平成25年度)

1位	ダイコン	89トン (89,000kg)
2位	トマト	83トン (83,000kg)
3位	ナス	76トン (76,000kg)

・果物の生産量ベスト3(平成25年度)

1位	柿	12トン (12,000kg)
2位	キウイフルーツ	5トン (5,000kg)
2位	栗	5トン (5,000kg)

トマト農家・森田信幸さんの趣味はアルトサックス。
ジャズのアドリブを練習しているのだそう。



元・エンジニアが育てる、 絶品フルーツトマト



普通のトマトを「フルーツトマト」に

森田信幸さんが営む「フルーツトマトの三幸園」は、ハウス2棟で約1400本のトマトを栽培する野菜農家だ。その他、季節ごとにナス、ダイコン、ジャガイモ、トウモロコシ、ホウレンソウなどを扱っている。

森田さんのトマトは、酸味と甘みが調和した味とフルーティーな香りが人気で、毎年1月～6月の販売時期を待ちにするファンが区内外に多数いる。「フルーツトマト」という特別な品種と思われるがちですが、うちで使っているのは『パルト』という一般的な品種。普通のトマトになるところを、『隔離ベッド法』という、トマトの根の張りを制限する特別な栽培法で育てて、フルーツのような味わいのトマトに仕上げているんです。

そんな絶品トマトを育てる森田さんだが、38歳で就農するまで農業経験は全くなかった。20代後半に思い立って、半年間インドやネパールを放浪するなど根っからの自由人。その後エンジニアとして勤めた自動車整備会社で、井草の農家の長女だった喜子さんと出会い、31歳で結婚して婿養子となった。「義父が急逝し、会社をやめて跡を継ぐことに。独学で

トマト作りを始めましたが、最初はキュウリとトマトの苗の区別もつかなくて」と、当時を振り返る。

ハウスの温度はスマホでチェック

25年の経験を通して、森田さんが実感するのは、いち早くハウスの異変をキャッチすることの大切さだ。閉じられた温室の中で、いったん害虫や病気が出れば被害は瞬間に広がる。コナジラミという1ミリほどの白いハエが原因で、トマトが全滅した年もあった。「今では葉の動く気配で害虫を察知できるほどですが、とにかく早期発見がカギです」。目視で発見できない極小のダニ類は、倍率25倍のルーペを使って確認しているという。

森田さんのトマトは、土壌管理などを徹底することで農薬と化学合成肥料の低減に成功し、東京都エコ農産物にも認証されており、ハウスの環境には常に細心の注意を払っている。そこで導入したのが、外出先でもハウス内の温度計の情報をスマートフォンでチェックできるシステムだ。それから最近試しているのが、土壌中の水分を数値で確認できるテンションメーター。これを活用すれば、水やりの時期や量



森田 信幸

昭和28年、埼玉県生まれ。建築業、飲食店経営、自動車整備会社勤務などを経て、妻・喜子さんの実家を継いで就農。トマト作りの専門家に師事して栽培技術を磨き、「フルーツトマトの三幸園」の経営を開始する。約20㍍（2000㎡）の農地でトマトを主に季節の野菜を栽培し、農地に隣接する自取機、農協の即売会、区内外のイベントで販売。ファームショップ「あくりーん」（JA東京中央直売所）運営委員長。

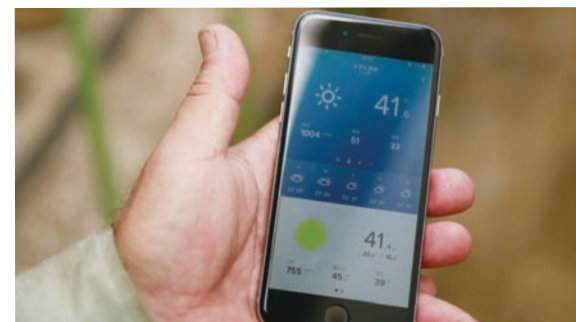
直売所：杉並区井草 2-29-22

公式サイト：<http://www.yasai.com/>

を適切に予測できる。「もともとエンジニアなので、新しい技術を取り入れるのは楽しいです。これから、ぜひやってみたいのが農産物の加工。余ったダイコンを漬物や切干大根にしたり、トマトでソースを作ったりね」。



食育イベント「ブロッコリーの苗植え体験」の様子。



手元のスマホで、ハウスに設置した温度計のデータをチェック。

地域と都市農地をつなぐ

若い頃から多趣味の森田さん。忙しい農作業の合間を縫って、今でも様々な趣味を楽しんでいる。まず、黎明期から使っているパソコンは、地域でインストラクターを頼まれるほど。「ワープロ全盛でパソコンを持っている人などほとんどいない時代から、トマトをインターネット販売していました」と笑う。その他、ビリヤード、モータースポーツに加え、5年前からはアルトサックスを始めたという。

また、自治会役員や消防団員、地域のボーイスカウト育成会の役員を務めるなど、地域での活動にも積極的だ。例えば最近では、杉並保健所主催の食育イベントの講師を引き受け、区内在住の親子を対象に植木鉢でブロッコリーを育てる方法のレクチャーなどを行っている。昨年は、災害時に地域の生活用水として使える防災兼用農業用井戸（詳しくは次ページ参照）を農地内に設置。チャレンジ精神旺盛な森田さんは、前職で得た技術を活かして、なんと配管を自分で手掛けたという。畑を見渡し、「自分も楽しみながら、地域の人のお役にも立てたら幸せです」と語ってくれた。

Report

防災兼用農業用井戸をご存知ですか？



杉並区では、防災兼用農業用井戸の導入を進めています。防災兼用農業用井戸は、平時では農業用水として良質な農産物の生産に活用され、災害時には近隣住民の皆さまの生活用水を提供するもので、災害からの速やかな復旧・復興に貢献します。

現在、区内9箇所はこの防災兼用農業用井戸を設置し、町内会や地域の防災訓練などを通して、多くの区民の皆さまに農地の防災機能を知っていただく活動をしています。設置されている農地には周知看板が立てられていますので、ご

いらっしゃると思います。今号で紹介した森田信幸さんの農地にも防災兼用農業用井戸が設置されています。

皆さんがご想像する井戸とは外見が異なります。この井戸は、電気水を汲み上げるもので、一般の水道のように蛇口をひねると水を出すことができます。当然、災害時には電気が供給されないことを想定し、井戸の設置されている農地には発電機を備えています。

設置場所については、都市農業係が作成している『ふれあい農業すぎなみ 農産物直販マップ』をご覧ください。

- | | |
|---|---|
| 1 | 2 |
| 3 | 4 |

1. 地域の子供たちへの周知も大切な活動です。
2. 外見はこのとおり。この地下に井戸が掘られています。
3. このように誰でも簡単に水が出せるようになっています。
4. 災害時に活躍する発電機。



杉並の野菜を食べてみたいと思ったら！

直売所以外でも、即売会などで杉並の野菜を買うことができます。ぜひ足を運んでみてください。



開催日	名称	場所	販売農産物	問合せ先
10月15日(土)	障害者福祉会館秋まつり	杉並障害者福祉会館／高井戸東 4-10-5	野菜・草花	産業振興センター都市農業係／03-5347-9136
10月16日(日)	「都市農地を守ろう！」アグリフェスタ2016	区役所庁舎前広場／阿佐谷南 1-15-1	野菜・草花等、各種イベント体験ブース・模擬店	産業振興センター都市農業係／03-5347-9136
10月22日(土)	花と緑の井草祭り	井草の森公園／井草 4-12-1	野菜・草花	東京商工会議所杉並支部／03-3220-1211
10月28日(金) ・29日(土)	杉並中野生産部会即売会	JA 杉並中野支店前／桃井 2-3-4	野菜・草花	JA 杉並中野支店／03-3399-8983
10月30日(日)	永福町オータムフェア	永福町南側永福通り周辺	野菜	JA 杉並グリーンセンター／03-5349-8791
11月5日(土) ・6日(日)	杉並区農業祭(すぎなみフェスタと同時開催)	桃井原っぱ公園／桃井 3-8-1	野菜・草花・植木 宝分け・寄せ植え体験等	産業振興センター都市農業係／03-5347-9136
11月6日(日)	八成祭り	八成区民集会所／井草 1-3-2	野菜・草花	井草地域区民センター協議会／03-3301-7723
11月12日(土) ・13日(日)	農芸祭	都立農芸高校／今川 3-25-1	草花・果樹・加工食品ほか	同校／03-3399-0191
11月19日(土) ・20日(日)	城西地区展示即売会	JA 東京中央城西支店／成田東 5-18-7	野菜・草花・植木 (バザー有)	JA 杉並グリーンセンター／03-5349-8791
12月19日(月)	南伊豆物産展コラボ企画・東京中央杉並中野生産部会即売会	区役所庁舎前広場／阿佐谷南 1-15-1	野菜・草花	JA 杉並グリーンセンター／03-5349-8791
12月中旬の金曜	杉並中野生産部会即売会	区役所庁舎前広場／阿佐谷南 1-15-1	野菜・草花	JA 杉並グリーンセンター／03-5349-8791
12月下旬	城西生産部会歳末即売会	区役所庁舎前広場／阿佐谷南 1-15-1	野菜・草花	JA 杉並グリーンセンター／03-5349-8791
12月下旬	グリーンクラブ歳末即売会	区役所庁舎前広場／阿佐谷南 1-15-1	野菜・草花	産業振興センター都市農業係／03-5347-9136
1月下旬	グリーンクラブ新春即売会	区役所庁舎前広場／阿佐谷南 1-15-1	野菜・草花	産業振興センター都市農業係／03-5347-9136
2月6日(月)	南伊豆物産展コラボ企画・東京中央杉並中野生産部会即売会	区役所庁舎前広場／阿佐谷南 1-15-1	野菜・草花	JA 杉並グリーンセンター／03-5349-8791
3月下旬	春の即売会	区役所庁舎前広場／阿佐谷南 1-15-1	野菜・草花・植木	産業振興センター都市農業係／03-5347-9136



杉並農人 第3号

平成 28 年 10 月

企画：杉並区

制作：NPO法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー

協力：杉並区農業者（JA東京中央城西生産部会、JA東京中央城西地区青壮年部、JA東京中央杉並中野生産部会、JA東京中央杉並中野地区青壮年部、
柿木園芸研究会、井草園芸研究会、高井戸花卉研究会、杉並区グリーンクラブ）、JA 東京中央、杉並区民の皆さん

◎お問い合わせ

杉並区産業振興センター都市農業係 〒167-0043 杉並区上荻一丁目 2-1 インテグラルタワー 2F TEL:03-5347-9136

参考：杉並区発行『ふれあい農業すぎなみ 農産物直販マップ2016』

※杉並区 HP でも公開しています。「直販マップ」で検索してみてください。